

議事要点

会議名称	令和3年度 第6回立川市国民健康保険運営協議会
開催日時	令和4年1月17日(月) 午後1時30分～午後3時00分
開催場所	立川市役所 本庁舎 101会議室
次第	1 立川市国民健康保険の保険料について(答申) 2 その他
配布資料	【机上配布資料】 資料1 令和4年度国民健康保険料率等について(東京都確定係数算定値対応版) 資料2 令和4年度国民健康保険料率等について(東京都確定係数算定値対応版) 資料3 諮問に対する意見
出席者	[委員] 被保険者代表(5名) 桑原 孝 田尻 隆子 中島 恵美 長谷川 佳代子 山田 廣幸 保険医及び保険薬剤師代表(3名) 多森 芳樹 平田 俊吉 森谷 健一 公益代表(4名) 江口 元気 大石 ふみお 若木 早苗 黒川 重夫 被用者保険等保険者代表(1名) 澤口 賢一 [事務局] 副市長 田中 良明 保健医療担当部長 吉田 正子 財政課長 佐藤 岳之 保険年金課長 森田 雅代 健康づくり担当課長 田村 信行 保険年金課業務係長 横田 昌彦 保険年金課医療給付係長 仁尾 弘一 保険年金課賦課係長 高橋 定洋 保険年金課業務係 横小路 優香
公開及び非公開	公開
傍聴者数	0人

<p>会議結果</p>	<p>1 立川市国民健康保険の保険料について（答申）</p> <p>都から示された確定係数算定値を示し、仮係数時に作成した保険料率案との差異について説明した。</p> <p>資料1について、確定係数決定に伴い算出された国民健康保険事業費納付金の金額を示した。全体的に仮係数算定値よりも減少。</p> <p>資料2について、資料1で示した納付金を賄うために必要な保険料の試算を示した。</p> <p>資料3について、前回の運営協議会で委員よりいただいた意見の趣旨を掲載した。</p> <p>委員より、東京都の係数変更により保険料が増額したことについて質問。この増額は今年度の立川市の保険料に加味されるものではなくあくまでも今年度もし国や東京都の求めるとおりに料率改定する場合を想定した金額であると回答。</p> <p>そもそも係数変更によって保険料や納付金に差が出るのはなぜかという質問。1人当たり医療費の増加傾向が加味されたことと後期高齢者医療制度・介護医療保険制度に社会保険診療報酬支払基金を通して支出する費用の部分が確定係数決定時に減額されたことによると回答。</p> <p>また、諮問に対する委員の意見には保険料の引き下げをすべきという内容をいれてほしいと意見。</p> <p>係数確定については仮係数と確定係数の差が縮められるように、またその差がどうして出てしまったのかということについては都に追及し、意見してほしいとの意見がでた。</p> <p>多くの方が現状維持という意見であると見受けられたが、幾らかでも改善できるようなケースIVを支持したい。現状経済対策等がなされている中で、多少の痛みがあっても改善すべきとの意見。</p> <p>議論を踏まえ、令和4年度の保険料については依然として、新型コロナウイルス感染症の終息が見込めず、経済や市民生活への深刻な影響も継続していることから、令和4年度の保険料及び賦課限度額については、令和3年度に引き続き、令和2年度の水準に据え置くこと。また、財政健全化計画については、国の指導に基づき、保険料未納分を含めた法定外繰入金の削減目標額の設定及びその目標達成年度の明記が必要となった。このため、法定外繰入金の削減目標額は修正するが、計画期間については、新型コロナウイルス感染症の趨勢とその影響が不透明であることかた、本年度の決定を見送り、次年度以降に改めて検討することとした。</p>
<p>担当</p>	<p>福祉保健部保険年金課 電話 042-528-4314</p>